

教科担任制(教科分担制)

令和2年度 教科担任制(分担制)の試行について

本郷小学校



取組のねらい

密度の濃い教材研究や教師の専門性を発揮することで確かな学び、深い学びを追究する。

段階的な教科担任制(分担制)を導入することで中1ギャップを解消する。

取組の概要

教師の専門性を生かした「教科担任制(分担制)」を高学年(5年生)に導入し、算数科、社会科、理科で実施する。



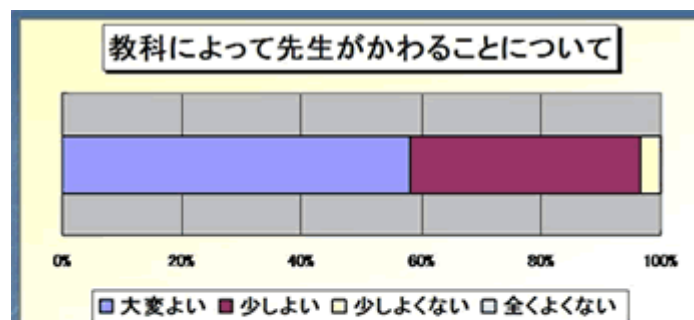
小学校の教科担任制、22年度から本格導入 中教審方針

中央教育審議会（中教審）は13日、各教科を専門の教員が教える「教科担任制」について、2022年度をめどに小学校5、6年生に本格的に導入すべきだとする方針をとりまとめた。教員の専門性を高めて授業の質を上げるとともに、授業準備の負担を減らして働き方改革にもつなげる。

実践研究校の報告

小学校の学級担任制から中学校の教科担任制への円滑な移行を目指し、中期第5・6学年で部分的教科担任制を取り入れている。可能な範囲で得意な教科を持ち合うことによって、より多くの教員で児童を指導する体制づくりを行った。


部分的教科担任制で学習した第5・6学年の児童へのアンケートでは、97%の児童達が教科担任制に賛成しており、学級担任制よりむしろ教科担任制を望む時期であることが分かる。



教科によって先生がかわるとよい理由

- いろいろな教え方があって楽しい
- いろいろな個性があっていい
- 慣れていたら中学校の時にいいと思う


取組(算数科)



表にすると変わり方の秘密を発見できるんだ。

きまりを式にするとどんな場合でも分かるようになるね。

取組(社会科)



これまでの学習や知っていることから日本と香港を比較して考えよう

日本の政治の仕組みは、どのようになっているのか調べていきたい。

習熟度コース別学習〈算数科〉

学習内容の習熟度に応じたコースを設定し、児童の個人差に応じた指導を行う。また、課題を工夫しノート指導や話し合い活動を通して数学的な考え方を育てるようになる。

【実施時数 週10h 打合せ等2h
5年1, 2組 175時間、
5年3, 4組 175時間】

探究し考える力を育成する〈社会科〉

興味・関心を喚起し、学習問題につながるような資料を適切に提示し、児童が進んで探究活動が行えるような学習を行う。その上で調べたことに対する自分の考えをもち、集団の中で意見の交流を行い、考えを深められるようにする。

【実施時数5年 週12h 105時間×4】

取組(理科)



食塩の粒がどんどん小さくなって消えていったよ。

食塩とミョウバンの
の溶け方にちがいが分かったね。

工夫する点

時間割編成の工夫

- ・教科担任制の実施にあたり、右表のような教科担任が実現できるように学校全体で固定時間割を工夫する。
- ・指導の充実を図るため、隔週程度で教科担任会を実施し、共通理解を深める。

一人一人のデータを大切に〈理科〉

一人一実験を基本にし、次の三つを心がけていく。

- ①実験の目的を理解して行う。
- ②実験器具を正しく扱える。
- ③結果から結論を導く。

PISA型読解力にかかわって、実験結果を表やグラフに表し、そこから考えられる規則性を導く過程を大切にする。

【実施時数 5年週 12h 105時間×4】

	担任 教科	51	52	53	54	算
算数	5年 1. 2組	◎		○		○
	5年 3. 4組	○		◎		○
社会	5年 全学級		◎			
理科	5年 全学級				◎	



予想される成果

- ・担当しない教科の教材研究の時間が生み出され、その時間を自分の担当する教科に当てられより深く教材研究を進めることができる。
- ・各教科とも専門性の高い授業が受けることができ、児童は生き生きと学ぶことができる。
- ・学年共通したノート指導が徹底されることにより、児童は思考の流れを分かりやすく整理したり、既習事項を振り返ったりすることができる。
- ・各教科担当者が学年の評価を行うため、より適正な評価ができる。

予想される課題

- ・各種行事や補教等の際に起こる時間数確保の課題を解決していくために、担当する教科及び学年のシステムを再考し、日頃から各担当間との連絡調整やコミュニケーションを密にする必要がある。
- ・児童の実態及び教科の特性を踏まえた指導ができるように、教科担任会、教科部会の充実を図っていく必要がある。
- ・開始、終了時刻を守る。生活指導上の問題を未然に防いだり、早期解決したりする取組が必要である。

実践例3



食塩の粒がどんどん小さくなって消えていったよ。

食塩とミョウバンの
の溶け方にちがいが分かったね。

工夫する点

時間割編成の工夫

- ・教科担任制の実施にあたり、右表のような教科担任が実現できるように学校全体で固定時間割を工夫する。
- ・指導の充実を図るため、隔週程度で教科担任会を実施し、共通理解を深める。

一人一人のデータを大切に 〈理科〉

一人一実験を基本にし、次の三つを心がけていく。

- ①実験の目的を理解して行う。
- ②実験器具を正しく扱える。
- ③結果から結論を導く。

PISA型読解力にかかわって、実験結果を表やグラフに表し、そこから考えられる規則性を導く過程を大切にする。

【実施時数 5年105時間、6年105時間】

		担任						
		51	52	61	62	63	少	家 2音
算 数	5年	○		○				○
	6年	○		○				○ ○
社 会	5年		52 51					
	6年				○			
理 科	5年		○					
	6年						○	

本来52担任の主任軽減講師が3時間受け持つ